

～みんなで育ててみんなで味わう食育体験～

1 目的と経緯

子どもたちが「食」への関心を深め、地域の人々とのつながりを実感できる機会をつくることを目的に、年間を通して食育活動と地域交流を進めています。

今年度は、年長組によるお買い物体験と野菜づくり、以上児による芋ほり体験を中心に、保護者や地域の協力を得ながら活動を展開しました。

食材が育つ過程を知ること、地域の人々と関わること、仲間と協力して取り組む経験を積むことをねらいとして実施しました。

2 内容

● 年長組の野菜づくり

春、子どもたちは園芸店を訪れ、自分たちでトマトときゅうりの苗を選んで購入しました。

苗植え、水やり、観察などの世話は子どもたちが主体となって行い、日々の成長を楽しみにしながら育てました。夏には立派に実った野菜を収穫し、サンドイッチづくりに挑戦。

自分たちで育てた食材を味わう喜びを体験しました。



● 以上児の芋ほり体験

秋には、保護者のご厚意で畑をお借りし、さつまいもの収穫を行いました。

土の感触を楽しみながら、友だちと協力して大きな芋を掘り出す姿が見られました。

収穫したさつまいもは園に持ち帰り、後日「焼きいも会」を開催。

自分たちで掘った芋のおいしさを味わい、地域の恵みへの感謝を深めました。



3 成果と課題

自分たちで育てた野菜を食べたり、収穫したりする中で、食べ物への興味が深まり苦手な野菜も食べられるようになったり、少しだけ口に運ぶ姿が見られるようになりました。

子どもたちが地域の人々に支えられながら成長していることを実感でき温かい交流の時間となりました。

今後も地域とともに子どもたちの育ちを支える活動を続けていきたいと考えています。